

DAIDO CAMPUS

大同工大キャンパス

No.49 2004.7

巻頭特集 / 大同工大に期待する

大成建設株式会社 名古屋支店 専務・支店長 岡崎洪太郎氏

授業開発センター3周年特集

DITの教育効果を格段に向上させた3年間

学生・先生奮闘記

「ロボカップジャパンオープン2004」 / 「愛知県立一宮高校スーパーサイエンスハイスクール」

学生の活躍 各部の主将が語る春リーグ

社会交流エクステンションセンター講座

AAオープン講座、地域連携講座

第39回宴祭

元気印の卒業生 (株)トエネック 遠藤徳和氏

ひそかなグルメスポット 江戸前 いづみ鮨

トコトン先生大活躍 / 就職トピックス

開かれた大学 / 巻末トピックス



宴祭開幕！集う学生たち

想いを表現して 通じ合えれば力になる!

大同工大キャンパス建設もそれで成功した!

大成建設(株) 専務・名古屋支店長 岡崎 洪太郎 氏

DIT滝春キャンパスを建設した大成建設(株)。本学卒業生も現在18名がお世話になっている。

中部地区での同社主要プロジェクト・中部国際空港建設が大詰めを迎えた今、同社専務・名古屋支店長、岡崎洪太郎氏にお話をうかがった。

都市再開発と新技術で『攻めの経営』展開を!

建設投資がピーク時(1992年)より40%以上も激減した今、中部地区は他地区に比べ元気ではあるが、新市場開拓は不可欠。同社は都市再開発と新技術で新たな受注に挑戦している。

まず中部地区では、中部国際空港開港、愛・地球博終了後のいわゆる「アフター・5(ファイブ)」の名古屋の街づくりとして、都市再開発事業に積極的に参加してゆく。すでに牛島地区再開発をスタートさせた。そして国内はもちろん、海外でもUAE(アラブ首長国連邦)で総延長約500kmの送水管工事を請け負い、トルコのボスポラス海峡では、地下の海峡トンネル工事を担当している。このように、都市開発や海外大プロジェクトだけでなく、新たな技術開発と担当したプロジェクトで蓄積した各種ノウハウの活用による新市場開拓も含め、同社は「攻めの経営」を進めている。

幅広い社員のノウハウを結集して 『地図に残る仕事』をしよう!

建設業界は人が財産である。ビル、橋、トンネル、道路など建設は必ず形として残る。「地図に残る仕事」をしようと、同社社員全員のモチベーションと誇り、責任感を高めている。

また人材採用に関しては、「大成建設でいい仕事をしたい」と大志を抱き自分の意志で門を叩いて来る学生を大切にしている。「最近の若者は...」という声かとみにかまびすしいが、若者は経験が少ないだけである。マナーが悪いのは論外だが、熱き想いを持ち続ける若者は必ず「大成」する。

大同工大キャンパス建設では 大学側と想いが具現化できてありがたかった

滝春キャンパス建築では、設計から竣工まで大学側と納得いくまで協議を重ねた。結果、双方のイメージや想いが合体されてうまく表現することができた。想いを具現化することは実はとても難しいこと。それで工業大学でありながらアートフルなキャンパスが完成した。

大同工大は、他大学と交流を深め コミュニケーション力を高めて欲しい!

大同工大で思うのは、学生数が限られている大学であるから余計、他大学との交流を意識的に深めるべき。それによって学生たちの視野の拡大や幅広い人脈拡大が可能となる。

最後に、「コミュニケーション能力を高めることです。専門領域に通じることは当然ですが、人間として社会生活をおくる上で重要な『想いを伝え合うかたち』を作ることが重要です。そのために『語力』、すなわち日本語、外国語を問わず、言葉で伝えあうことができれば、伝えるほう吸収するほう双方にとって大きな力となります」とエールをいただいた。



大成建設(株)の中部主要プロジェクト、中部新国際空港

教育重視型大学のエートス(気風)の更なる醸成を

授業開発センター
3周年特集

授業開発センターが開設3周年を迎えた。2001年、学長提案による「大同工業大学授業憲章2001 CHARTER of TEACHING 2001」が採択されてから、文字通り教育重視型大学へ生まれ変わるための活動を全学で精力的に進めてきた3年間だった。このほど授業開発センター長の首我静男先生が、文部科学省に「平成16年度特色ある大学教育支援プログラム」申請書を提出されたのを機会に、3年を振り返ってもらった。



研究授業(事口壽男先生)

DITの教育効果を格段に向上させた3年間!

全教員参加型の公開研究授業のシステム化が他大学に先駆けた取り組みになりました

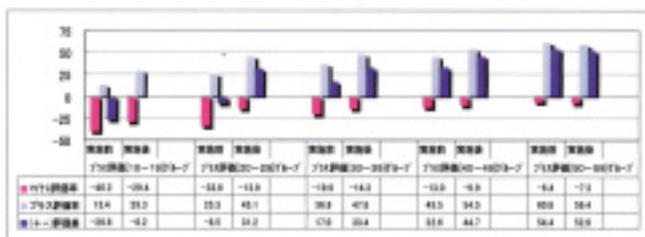
大学教育を疲弊させていた「伝統的授業密室主義」を克服し、全教員参加による公開研究授業をシステム化して日常的に取り組むことは、他大学に先駆けた取り組みだった。今年名城大が同様の取り組みを始めたが、大同工大ではもう3年経っている。

公開研究授業、学生による授業評価と学習到達度自己評価、授業開発助成制度の3本柱で教育改革を着実に進めてきました

新たな教育システムの具体化は、個々の授業実践にかかっている。公開研究授業に加え、学生による授業評価と学習到達度自己評価、そして昨年制定した年間400万円の予算で画期的な授業開発の試みに援助をする授業開発助成制度、この3本柱で教育改革を進めてきた。

学生への教育効果が確実に上っています

単位取得状況では、ストレートに卒業可能な単位取得率が、01生から03生では入学者の7.9.1%から88.4%に上昇。また学習到達度評価(5段階)では、01生全体平均2.9から03生は3.4まで上昇している。



『研究授業担当者の授業改善の状況』(研究授業実施前の評価グループ別)



授業研究会(服部文彦先生) 写真中央

教員の授業改善への波及効果が顕著です

3年間で全専任教員の6割の研究授業と授業研究会を開催し、12巻の「授業批評」を発刊した。この間に授業のプラス評価の平均値が、01年度42.4%から03年度50.1%へと、確実に上昇。また研究授業担当者の授業改善も大きく進み、特に評価の低かった授業者グループのプラス評価上昇率が20%にも上っている。(左表参照)

教育重視型大学のエートスを醸成したい

専任教員全員の研究授業を終えるには後2年かかる。その後は全大学未踏の非常勤講師の公開授業を開始する。「3年間の教育効果向上の成果を元に、学生と真剣に向き合うという教育重視型大学のエートス(気風)を学内に醸成して、新しくアカデミックな「学問の府」として21世紀を輝きつづけていくことがDITの目指す究極の理想です」と結ばれた。



情報機械システム工学科、西堀賢司教授はじめメカトロニクスグループのロボサッカーチーム

「ロボカップジャパンオープン2004大阪 中型ロボットリーグ」に初出場!

他大学も驚く飛躍的成長に、来年度が見えてきた!

参加チームは全部で8つ。初出場の大同工大の他に、慶応大、東洋大、九州工大、金工大、大阪大、三重大に(株)村田機械。それぞれが全チーム総当りの予選を行い、予選上位2チームが決勝戦を行う。慶応大、金工大に村田機械が3強という下馬評。

我が大同工大チームは、西堀先生、尾形先生に院生・学生8名が4月29日から5月4日まで、会場の大阪南港・インテックス大阪にこもりっきりで試合に臨んだ。

5月1日の大会初日、大同工大初戦の相手は三重大。前後半各10分ハーフ、ハーフタイムも10分間。出場するロボット選手はゴールキーパー入れて5台。ところが試合開始直前、大同工大は3台しか機能しないことが判明、仕方なく3台でいざ試合開始。

ところがその3台とも画像認識ができないため動かない。一方の三重大も1台だけが少し動く。その1台に先取点を許す。後半に入って大同工大の1台が動き出し、猛然と三重大ゴールに迫りあと数センチのところまでゴールラインを割れず、0-1で惜敗した。

続く第2戦は九州工大が相手。こちらは動きが数段上、しかも大同工大のロボットが3台とも全く動かず、前半は1-2で終了。大同工大の待望の1点は、相手のシュートがゴールポストに跳ね返って自分のゴールに入った「OWNゴール」。後半に入っても状態は変わらず、相手に2点を追加され、1-4で敗戦。応援の大嶋先生、池田先生、そして坂倉先生にも悔しい大会初日となった。

その夜から、学生たちと西堀、尾形両先生の夜を徹した奮闘が始まった。試合のほうは、2日に大阪大、東洋大に、3日は村田機械と金工大に敗退したものの、「ロボット選手たち」は確実に動きが良くなった。そして大会最終日の相手は昨年の世界大会優勝の慶応大。初日と違ってこの日は4台のロボットがピッチに立って、攻撃にディフェンスに動きが活発。ゴールキーパーはキックで相手のシュートをクリア。試合は惜しくも0-3で敗れたものの、ゲーム解説者が「初出場の大同工大の動きは大会中に驚異的な進歩を見せ、慶応に善戦しております」とアナウンスしていた。

結果は0勝7敗だったが、西堀先生は「来年度の大会に向けて確かな手ごたえを掴んだ」と総括。尾形先生も「乳児からハイハイができるようになったところです」と確かな1歩を踏み出したとの認識を語った。なおロボット選手のシュート機構は池田先生の研究室が製作、ボディを覆うカバーは、情報学科の檀田先生と名古屋芸大松岡先生指導で製作した特製のカバー。参加大学からどうやって製作したか質問攻めにあった。



チームリーダー大西芳明君(03MM)



大同工大(右)と慶応大(左)の試合(5月4日)



戦いを終えて... 左から尾形先生、小川久君(03MM)、高橋佑介君(01J)、津田典和君(01J)、石川善裕君(04MM)、西堀先生、渡辺昇君(03B)、山本大介君(03J)、吉岡健次君(03MM)

チームリーダーの大西芳明君(03MM)はインタビューを受けていて写真にはいない。



愛知県立一宮高校の スーパーサイエンスハイスクールで 前代見聞の燃料電池製作方法開発！



実験指導中の松浦研究員

堀先生が文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール」事業を進める愛知県立一宮高校の授業を、3月から7月はじめまで精力的に支援した。このプロジェクトは、一宮高校の理系2年生240名が、高校内や大学に向き、医療・バイオやエネルギー、メカトロといった最先端の授業を受けたり、実験を行ったりする。第1回目の講演は、ノーベル賞の野依良治教授、そして2回目の今年が燃料電池研究の第一人者、我が大同工大の堀先生。

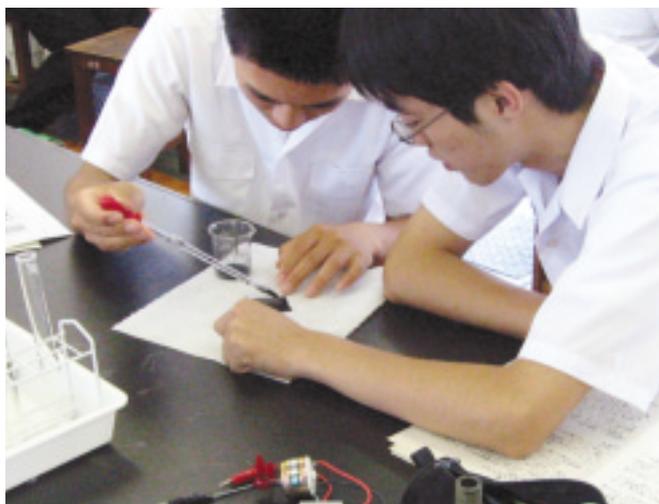
堀研究室の松浦研究員が、パン焼き器など家庭にあるものだけで燃料電池を作る方法に挑戦して、トヨタやホンダなどの世界トップレベルの研究者が数百名規模で開発にしのを削る燃料電池を、小学生、中学生、高校生のみならず、おじいちゃん、おばあちゃんでも簡単に作れる前代未聞の製作方法を開発した。この方法で一宮高校の生徒たちが、わずか65分の授業の中で、燃料電池を製作して発電をしてプロペラを回すことに成功した。

また堀先生は、この一宮高校の取り組みを、燃料電池に力を入れている三重県の野呂知事に紹介。7月2日には、三重県庁の方々が授業を見学を訪れた。

堀先生は近い将来、こうした取り組みを全国の小学校・中学校・高等学校に広げ、ロボットコンテストに対抗して「燃料電池コンテスト」を開催したいと考えており、その夢を語る先生の目は少年のようだ。



講義中の堀先生



ハンドボール部

元木祐輔主将が語る春リーグとこれからの課題

春の東海リーグは悔しい13位!

東海学生ハンドボール春季リーグ、大同工大は5勝1敗1分で、昨秋優勝の名城大と勝率で並んだが、得失点差で3位となった。リーグ戦終了後、夏の西日本インカレ(今年は大阪開催)に向け練習に励む元木祐輔主将(01M・九州産大高)に話を聞いた。

伝統を守り、元木オリジナリティを創り上げようと思いました

4年目で東海リーグ優勝、西日本インカレ準優勝の金字塔を打ち立てた前板垣貴幸主将の後を受けて主将になったとき、心に誓ったのがこの抱負。

今年のチームは、高さを生かした攻撃とディフェンス、チームの連携で勝負です

確かに元木主将始め背の高い選手が揃う。昨年までの絶対的エースはいないが、コミュニケーションを高めて連携のよさで勝負する。

春のリーグでは課題がはっきり見えました

とはいえ、リーグ戦前にはいい練習ができていなかった。その分中部大に破れ、名城大とは引き分けて3位。やはり実戦のコート上でのコミュニケーション、そして絶対勝つという強いモチベーションが弱かった。主将として自分を見失うこともあったとか。

1対1の競い合いで強くなり、コミュニケーションを高めます! 春の失敗はしません!

目標ははっきり見えている。課題も見えている。後は実行するだけ。夏の西日本インカレでは、福岡大、同志社大、高松大のグループで予選リーグを戦う。「絶対優勝します!」と強く誓ってくれた。

ハンドボール部佐藤壮一郎監督(教養部講師)
日本ハンドボールチームU23のコーチ就任!
年末・年始にロシア遠征も。



元木祐輔主将



バレーボール部

入れ替え戦にも勝って、
わずか1季で1部リーグ復帰を果たす!
東海リーグ2部で全勝優勝!

川崎浩二主将(01C・大同工大大同高)が語る戦いの後

2部落ちは部内の団結力の弱さでした

上級生と下級生とがかみ合わず、信頼感を失ったことが勝てなかった最大の原因だと分析。ミーティングを重ねて少しずつ改善していった。

2部と1部の違いに驚きました

1部へ上がろうとするハングリーさが薄く、大同工大は「勝って当然」と見られ、最初は苦戦。その受身の気持ちやプレッシャーを克服して、「1部復帰」へ向けて集中できたから入れ替え戦にも勝利できた。

高さで劣る分、団結力とフォーメーションで勝負です

サーブの強化、ブロックとレシーブのフォーメーションを磨き、持ち前の団結力で西日本インカレ、そして秋のリーグに臨む。西日本インカレからは新チームとなり、川崎主将も「引退」。

硬式野球部

悔しい13位で3部復活ならず!

青木崇主将(02E・高山工高)、秋に雪辱を誓う

投手力を整備します

青木主将自身が、春のリーグ戦中に捕手から投手にコンバート。もともと内外野守備は堅実だから、バッテリー整備が何よりも大事。昨秋に3部で戦って知った実力の差、これを一つ一つ埋めていくのが課題。

『野球部は違う』といわれるようになりたい

野球で強くなるのは、体力や技術だけではダメ。その前に必ずメンタルに強くなる必要がある。生活態度やマナー、モチベーション、全てを向上させることが野球のレベルアップにも繋がる。



対南山大戦、力投する青木主将(左)



川崎浩二主将



本年度AAオープン講座開講!

貴重な講演に、学生も教職員も熱心に聴講。



澤岡昭学長

澤岡昭学長には、「中国の有人宇宙飛行はどのように可能になったのか。日本の可能性はどうか」というテーマで講演していただいた。

ABCテレビ朝日系列の人気番組「大改造!劇的ビフォー・アフター」の匠として、今年4月の特別2時間番組で2回目の出演を果たした本学出身の建築家、柴田達志氏にも、「建築家の視点」と題して、テレビでは見えない建築の苦労や面白さを話していただいた。

機械系学生対象の講座では、尾形和哉先生のご紹介で、名古屋大学の末松良一先生に、「からくり人形とホームロボット、日本人のロボット観」と題して、からくり人形の動きの実演や、アイボロボットの動きのデモを通じて、日本のからくり人形がロボット設計と共通していることを示された。

1年生を対象にした社会交流エクステンションセンターのAAオープン講座が、今年も開講され、AAセミナーの学生たちと教職員が熱心に聴講した。AAオープン講座は、普段の授業では聞くことのできない興味あるテーマで、内外の講師を招いて講演してもらうことで、学生たちの視野を広げるエンカレッジ講座。今年は講師を厳選した。



柴田達志氏



末松良一先生

名古屋大学の水野幸治先生は、数々の自動車の衝突実験映像を示しながら、自動車の安全と設計について先端技術の実際を紹介いただいた。

地域連携講座(金属工房)

「銀のスプーンを作ろう」 盛会裏に終了!

大同工業大学と名古屋市南区役所まちづくり推進事業部とが共催した金属工房「銀のスプーンを作ろう」が、6月19日、26日の土曜日2日間開催された。

参加したのは、主婦や仕事をもつ女性18名。工房カオス主宰、鬼頭正信先生の指導で、笹銀と呼ばれる純銀の粒を溶解して塊にし、これを焼いては金槌で打つという鍛金の手法で伸ばしながら世界でひとつしかない自分のスプーンに仕上げた。「これだけは主人にも触らせません」とは、出席した主婦の弁。



笹銀を溶かす

おもしろAAセミナー紹介 ものづくりの モチベーションを醸成!

工学部1年生の前期カリキュラム、AAセミナー。担当の先生方が趣向を重ねて学生たちの「ものづくり」へのモチベーションを高めようと努力している。

まずは、電気電子工学科佐藤義久先生のAAセミナー。子供のオモチャ自動車を改良し、バッテリーと動力伝達装置を全て手作りして搭載し、「一人乗り電気自動車」を製作した。

もうひとつ、都市環境デザイン学科棚橋秀行先生のAAセミナーでは、8人の学生が、自動車のプラモデル製作に取り組み、力作が研究室に並んだ。



佐藤先生AAセミナー▶

棚橋先生AAセミナー





仮装行列



DIT生の熱気に「絶対雨」の天気予報も吹っ飛ばす!

第39回 **宴祭** 好天に恵まれ華々しく開催!



学生とDIT生



本祭

第39回宴祭、今年のテーマは「台風」。そのテーマの所為か、宴祭の開催を告げる5月23日の仮装行列はスタート直後から雨がばらつく。その雨をもものともせず、白川公園から栄を往復する約2キロのコースを、吹奏楽団を先頭に元気に行進、日曜日に栄に繰り出した人々の目を引いた。

続いて5月27日は石井記念体育館でバドミントン大会。学生、教職員に男女のチーム入り乱れて好ゲームを展開、いい汗をかいていた。

そして5月28日午後4時半からの前夜祭で宴祭本番がスタート。この日はビンゴゲームと大カラオケ大会で午後8時まで盛り上がった。

明けて29日土曜日、前夜からの雨の天気予報はどこへやら、暑い晴天。午前11時に滝春校舎円形ステージで澤岡学長の「開会宣言」。「お~い!みんな燃えているか~?」と学生たちへエールを贈ったあと吹奏楽団の演奏を皮切りに次々とパフォーマンスが展開される。また11時にはゴビホールで同窓会用の寿司屋さん「ゴビのいづみ鮓」がオープン。この日の同窓会総会に訪れた同窓生たちが早速舌鼓。この日のメイン、バザーは大賑わい。正門からゴビ

ホールまでテントが立ち並び飲み物、食べ物、ゲームにロボット実演。B棟では占い、ヘアカットに、各研究室やクラブのデモンストレーション、そして入試相談会では順番待ちの列が。D棟2階にはキティちゃんのエアテントには子供たちが列を作っている。午後4時、全テントで商品売り切れ初日を終えた。



30日は最終日。この日も天気予報は雨だったが、30度を超える晴天。DIT生の熱気が雨を吹っ飛ばした格好。午前11時からゴビ ホールで後援会総会も開催されたから、キャンパスはものすごい人出。ご父母の皆さんも総会終了後に宴祭見物。パフォーマンスや展示、テントのバザーなどを楽しんでいた。

この日の円形ステージの呼び物はエスパー伊東のパフォーマンス。上半身裸にピンクのタイツ姿で妙技を次々披露して喝采を浴びた。そしてパフォーマンスの締めくくりは空手道部の演舞。見事な型や板割りなどの荒業をも織り交せて、日頃の練習の成果を披露した。

そして宴祭の締めくくりは滝春グラウンドでの後夜祭。午後6時からの片瀬那奈コンサートで一気に盛り上がる。日本中にエレクトロ・ダンス・ポップ旋風を巻き起こした熱いライブに酔いしれた後はいよいよ大同工大名物「大キャンプファイアー」の点火。赤々と燃え盛るファイアの周りで学生たちが踊りまくる。そして圧巻は宴祭フィナーレ。祭りを演出した大学祭実行委員会メンバーがステージに勢揃い。委員長の締めくくりの挨拶に会場から大歓声が上がってステージと参加者が一体となったところで、終わりを惜しむようにレーザー光線と花火の競演で、1週間にわたった宴祭を終えた。



宴祭の一環として モーターサイクルスポーツクラブ主催の「ライディングスクール」開催!

宴祭最終日の30日、緑区の緑ヶ丘自動車学校で、二輪車の正しい運転マナーと法律知識を身につけようと、南警察署第一交通機動隊の指導で午前10時に「開校」された。定員80名を超える参加があり、安全運転への認識を高めたあと、午後3時から宴祭に合流した。





親子二代の
トーエネックマンです



岐阜北営業所前で

(株)トーエネック
岐阜北営業所配電グループ

遠藤 徳和 氏

2002年3月 工学部電気電子工学科卒業



父の背中を見て育った:

父も(株)トーエネックの現場で活躍した。尊敬する父の背中を見て、トーエネックで仕事したいという夢が簡単に叶った。数学大好き、英語ダメ。理系の大同工大にすんなり入学、就職も1社目の挑戦でトーエネックから内定をゲット。すんなりと親子二代のトーエネックマンとなった。

大同工大ではとにかく早く単位を取った:

キャップ制導入前に学生だった遠藤氏。真面目に勉強して、2年生までで、3年、4年の必修科目を残して単位は殆ど取った。卒研は「心臓の鼓動をデータ変換して解析する」研究。自らにニトログリセリンを投与して脈拍を上げてデータを取るという人体実験。

今でも大学時代にもっとやっておけばと思う:

やれることはその時にすぐやるのが大事だと社会に出て痛感した。社会では勉強する時間がままならない。大学時代にもっと資格をとったり旅に出たりしておけばよかったと思う。

今の会社で責任ある仕事をしたい:

この10月には結婚する。相手は3歳年上の元ソフトボール選手。大学時代からの愛を真面目に実らせた。責任も重くなる。仕事に全力投入し、資格に挑戦し、手が空いたら他の人を手伝い新たな仕事にも挑戦。その積み重ねで将来責任ある仕事ができる人物になりたいと夢も膨らむ。その真面目さに拍手。

真面目でなければ勤まらない仕事

遠藤氏が勤務する(株)トーエネック岐阜北営業所は、名鉄揖斐線尻毛(しっけ)駅から歩いて10分のところにあった。事務所に入るとひとときわ若くてまじめそのものといった人物がいた。大同工大の卒業生、遠藤徳和氏だ。入社3年目、この仕事を覚えるのに5年ほどかかること。その際最も重要な資質が「真面目であること」と、同営業所の後藤営業所長も強調される。とにかく覚えることが山ほどある。寒いとき、暑いとき、深夜、早朝と工事時間もまちまち。それに地域の人の対応や苦情処理や工事の安全管理に人的管理などなど、とてもすぐは覚えられない。それでも仕事は遠藤氏にマルチ人間になることを求める。真面目で柔軟な対応能力を求める。「確実に進んでいます」とは後藤所長の評価。

本年度学内入試説明会開催! 高校から進路指導の先生方80名ご参加

本年度初めての学内入試説明会が、6月9日午後2時から5時まで、図書館4階の大会議室で開催された。今年は各高等学校から進路指導の先生方80名が参加された。

本年度の大学概要、2005年度の入試概要の説明を熱心に聞かれていた。そのあと個別相談や、大学施設見学などで、盛況のうちに説明会を終えた。



ひそかな グルメスポット⑤

DITの近くの学生向けグルメを紹介します

江戸前

純粋で即決する大将、
鮓には妥協を許さない!

いづみ鮓



31年経ってもアツアツ、大将と女将さん

DIT白水校舎の南を東へ100メートル、大同病院東の端、筋向いにいづみ鮓はあ
る。暖簾がかかっているが何も書かれていない。正直、見栄えのいい店とは言いにく
い。

店の中は十人ちょっと入ればもう満員。ところが店の大将は筋金入りの鮓職人。
小学校4年生のとき出会った鮓屋のおじさんの鉢巻・高下駄姿にすっかりいかれ、自
分の仕事は鮓屋の主人だと即決。中学卒業と同時に1年修行した。しかし、鮓なら東
京で修行すべきとの勧めを聞いてすぐ上京。誰も教えてくれないから全て先輩のす
ることをひたすら見て覚えて盗んだ。

修行すること10年。腕は上げたが東京が性に合わなかった。「故郷で自分の鮓屋
が持ちたい」一心で、店が引き止めるのを振り切り名古屋へ帰った。やがて今のとこ
ろに店を出すことを即決。ついでに(?)見合いしたその日に結婚をこれまた即決。
お相手は柴田生まれの柴田育ち。3ヶ月後に結婚し道後温泉へ新婚旅行。感動の旅
行なのに店の工事が気になり日程を1日早めて帰った。そしてはや31年経過。「夫
婦でふうふう(?)言いながら何とかやってきました」と謙遜する。粋である。

とはいえ学生には鮓の値段は高い。店の一押し「ちらし寿司」はネタのよさとシャ
リの酢加減が絶品。味噌汁つきで1000円とは思えない。安い寿司は出さないとい
うから学生諸君は先生に連れて行ってもらうのに限る。

開店以来大同工大とは縁がある。「うちは先生方が多いです。学生さんは先生と
一緒です。先生でも東京から来られている先生が多い」そうだ。が、「先生のお顔は
すぐ覚えてもお名前には知らない」ことが多い。ただ、建築学科の光田先生だけは例
外中の例外。名前はしっかり覚えているし、先生が来店すると胸が高まり振るえが来
るとか。粋である。

今年の宴祭では、ゴビ ホールの1階で同窓会の鮓屋を臨時開店。特別料金のに
ぎり寿司は2日間とも売完。同窓生や宴祭に訪れた人たちに人気を博し、早くも来年
もぜひにというアンコールも出た。

純粋で何でも即決、これがいづみ鮓の大将。女将さんは今でもぞっこん。「80
歳を過ぎてても鮓は握り続けます」。大将に定年は恐らくないだろう。



一押しメニュー「ちらし寿司」



同窓会用にゴビホール1階店、臨時開店!



中日新聞主催 春の大学展 大同工大ブースも活況!

中日新聞主催、恒例春の大学展
が6月5日、6日の二日間、名古屋国
際会議場で開催された。日比野入
試室長によれば、この時期に大学
展へ訪れるのは、圧倒的に推薦系
で文系志望の高校生、しかも女子
生徒が多いのが特徴だそうだ。

しかし二日間に大同工大のブ
ースには、昨年を上回る多くの高校
生が訪れて熱心に質問していた。中
には「 について聞きたい」とは
きりと目的をもってブースを訪れ
る女子生徒も昨年よりも多かった。



トコト先生! 大活躍!

学長、オレゴン大学学長と名古屋で朝食会。 提携25周年を迎え、一層の進展を誓い合う。



4月2日オレゴン大学のDave Frohnmayer学長が名古屋を訪れたのを機会に朝食会が実現した。両大学の提携25周年を機に、連携をますます緊密化させることで合意した。その一環とし、大同工大の「アメリカ短期留学」期間中に、学長がオレゴン大学を表敬訪問することが決まった。DITからできるだけ多くの学生が参加してオレゴン大生と交流を深め、新たな取り組みを積極的に行って提携のパイプが太くなることを期待したい。



都市環境デザイン学科 大東憲二教授、 NHKテレビに出演!

大東先生が出演したのは、5月7日金曜日夕方6時10分からのNHK名古屋放送局制作、「ほっとイブニング」。6時25分から「都市部の中の清水・幻の名古屋地下水脈」と題した4分間のコーナーで、名古屋の地下水脈について解説した。名古屋市北区の酒蔵から千種区の高牟神社、古井の坂などを歩きながら、昔から名古屋の地下で北から南へ豊かな清水が流れていたと説明。NHKの小野田レポーターも大東先生の博識に感心しきりだった。



ポーランド科学大臣、 河村文部科学大臣らと交流!

4月21、22日の両日、東京のポーランド大使館で開催された「ポーランド科学フォーラム」に、学長と藤原客員教授が参加した。「科学と技術に於ける新しいパートナーシップの構築」と題して、ポーランドから代表的な11名の科学者が発表を行った。このなかで、ポーランドのM・クレマー科学大臣、河村文部科学大臣他、奥田経団連会長などとも交流した。

学長は、昨年10月、ポーランド科学アカデミーで講演されたり、今年4月にはポーランドから日本語の達者なFilipek博士を招いて講演会を開催されたりなど、ポーランドとの太いパイプを持っている。

学長、東海ラジオ人気番組出演!火星の秘話を披露。

東海ラジオ朝の人気番組「小島一宏モーニングあいランド」に、7時台と8時台の2回、学長が出演した。

7時台には「火星に人類が行けるのか?」という質問に、「今から15年後には実現するだろう。火星に行くには往きに1年、滞在1年、帰りに1年の3年がかりで、しかも宇宙飛行士は1人で過ごすことになる」と遠大な火星探索スケジュールを紹介。

8時台には「火星に生命はいるか?」という問いに、「水が存在したことは確か。生命体はひょっとしたら火星の地下に潜って地下都市を建設して暮らしているかも知れない」と、仰天話を披露。司会の小島氏は、「澤岡学長のお話しをもっと聞きたい!」とコメントしてコーナーを締めくくった。

後日談;学長のAAオープン講座を小島一宏氏とディレクターの秋田和典氏が聞きに来られた。



建築学科 笠嶋泰教授、 新聞掲載にNHKテレビ出演にと大忙し!

トコト先生!
大活躍!

中日新聞が5月11日の朝刊で、「学生が変える 街の姿」という見出しで、大阪と名古屋の学生による街づくり提案の動きを紹介する記事を掲載した。その中で名古屋では、大同工業大学の笠嶋研究室で、名鉄常滑線高架工事に併せて、大同町駅から大学までの市道を対象に駅舎と道路の模型を作ってアイデアを練っていると紹介した。

また6月10日木曜日のNHK総合テレビ名古屋ローカルニュースで、午後6時40分から約5分間の「壁を変えれば街が変わる」というトピックで、笠嶋先生の授業「建築設計」で取り組まれた「学生による工場のリニューアル提案」が紹介された。先生や学生たちのインタビューが放送されたが、このニュースは次に北陸三県でも放送された後、6月30日午後2時05分からの全国向け番組「お元気ですか日本列島」で、5分間にわたって全国放送された。



取材中のNHKクルー



インタビューされる樋口さん(01A)



建築学科 瀬尾文彰教授、 中日新聞のコラム「ひととき」に 都市空間将来構想を連載!

今年の初めから名古屋の都市空間構想を発表し続けている瀬尾先生が、3月から中日新聞のコラム「ひととき」で、名古屋の都市空間将来構想について連載している。

名古屋には埋もれた環境資源があるのに、それを活

用しておらず、結果として都市の姿「顔立ち」が悪いまま。特に他の都市と比べて名古屋は海辺の整備が遅れている。伊勢湾岸道路の開通、中部国際空港開港は、臨海部にもうひとつの副都心を設ける必要が生れてくる。先生はこのように指摘している。

情報学科 岩木呂卓巳講師、 中日新聞のコラム 「週をひらく・フォト歳時記」を 毎週月曜日連載中!

岩木呂先生は、DITの講師に就任する前から、中日新聞の毎週月曜日のコラム「週をひらく・フォト歳時記」に、珍しい動植物や昆虫について連載している。「虫の音」と題した映像作品でグランプリを受賞した経歴が示すとおり、先生が収集されたデータは膨大。何でも毎週連載するのは随分骨の折れる仕事のはずだが、見事に連載継続中。DIT講師に就任してから、新聞社と交渉して、コラム最後に「大同工業大講師」という肩書きを追加させた気遣いも大変ありがたい。



トコト先生 大活躍!



電気電子工学科中井靖男教授、
日刊工業新聞が取材、
「芽はぐくむ研究室」に掲載。

5月14日の日刊工業新聞、「芽はぐくむ研究室」欄で、中井靖男先生の紹介を掲載した。「結晶が成長するための原子構造の解明が中心課題」と先生を紹介。研究経歴とあわせて、「炭素原子のクセを見抜く」、「道具(研究装置)は自分で作るべきだ」などの持論も含め、中井先生の人柄がにじむ記事となった。

情報学科 山本武信教授、 東海ラジオ出演と 大学連携講座の講師を!

5月10日東海ラジオ「小島一宏モーニングあいランド」の1コーナーで、EU加盟国が一気に25カ国に増えたことで、今後EUはどうなっていくのかについて山本先生にコメントを依頼。「ヨーロッパ内では東西統一による大ヨーロッパになる」、「対外的にはアメリカの一極集中体制のなかにアメリカとEUの二極体制となる可能性がある」と述べた。

もうひとつは、名古屋市教育委員会・名古屋市生涯学習推進センターと大同工大共催の大学連携講座「地球を読む旅～世界はどこからどこへ?～」の講師を務めた。5月25日には「私が見た世紀の転換 - あの日、のゴルバチョフ」、6月8日には「IT社会の光と影 - 『人間』が崩れていく」とのテーマで講演した。



就職Topics

就職率100%維持のために 精力的な取り組みを!

企業説明会開催! 授業改革第1期生の 活躍に期待する!

6月7日から延べ4日間にわたって、DIT企業説明会が図書館4階の大会議室で開催された。就職戦線たけなわでの企業説明会だけに、就職活動中の学生始め、先生方、就職指導室の職員、そして参加された企業の採用担当者の皆様と、参加者全てが緊張感のこもった面接を展開した。

この間の参加学生は、延べ387名、参加企業は延べ、109社だった。



全国大学就職ランキングで、 またまた上位にランクイン!

主婦の友社からこのほど刊行された「就職で泣かない!女子高生のための大学選び」(山崎理佳・笹 幸恵著)。このなかの「大学就職率(女子大含む)トップ20」のなかで、大同工大は堂々7位にランクインして、就職率の高さを改めて実証したこととなった。

また個別に各大学の就職活動を紹介するページでは、有名大学に混じって大同工大が取り上げられ、ガイダンスの多さや就職試験指導、卒研指導などを通してきめ細かく指導して、学生の就職支援を展開していることを紹介している。

大同特殊鋼(株)への 2003年度共同研究・受託研究報告会開催

産学連携共同研究センター(リエゾンオフィス)主催の大同特殊鋼株式会社への2003年度共同研究・受託研究報告会が、今年は例年より早く4月22日(木)、滝春校舎14階交流室で開催された。

磯川副センター長の司会で、教養部化学教室・酒井先生、機械工学科・堀先生、情報機械システム工学科・中村先生、電気電子工学科・岩間先生、坂先生、神保先生、建築学科・山本先生の7人の先生方が研究報告された。

大同特殊鋼からは岡部技術開発研究所長はじめ延べ13名が出席、発表された先生方と活発な質疑・議論が展開された。最後に岡部技術開発研究所長から、「研究途上で先生と大同特殊鋼研究員とのやり取りもあって研究が噛み合ってきていること、2004年度の研究テーマは5月に提示すること、長期的研究テーマも設定したい」などの総評と今後の展望の提示があった。



各高等学校のDIT見学相次ぐ。

まず5月20日木曜日、愛知県立東浦高校PTAのお母さんたちが、本学見学に訪れた。就職指導室、アップルセンター、社会交流エクステンションセンタースタディールーム、B棟のPC実習室などを見学した。

次は6月10日、飯田工業高校の3年生の生徒さん48名が、見学に来学。ロボカップ、燃料電池ラボ、ナノテク実験室などを見学。DITの先進研究設備に感心しきりだった。

最後は6月16日、可児工業高校の先生とPTAのみなさん43名が本学を訪れ、主に教育施設、授業、実験棟などを見学した。

見学に訪れた人たちは、特にDITの実験・研究設備に興味津々だった。



柴田小学校2年生の児童7人が大同工大を訪問!

6月24日、柴田小学校2年生の児童7人が先生に引率されて生活科の学習に訪れた。かわいい訪問者たちには、教務室と学生室で対応した。

「大学ではどういう施設がありますか?」、「仕事でうれしいことは何ですか?」、「何人の学生がいますか?」、「どんなクラブがありますか?」、「大学の授業は何時間ですか?」、「大学ではどういう勉強をしているのですか?」などの質問を投げかけていた。

柴田小学校では、10月にも訪れたいという意向があるそうだ。



後日届いた7人の礼状!

平成16年度 後援会総会開催!

宴祭と重なり、ご父母の参加増。

5月30日日曜日の宴祭当日に、ゴビ ホールで平成16年度後援会総会が開催された。宴祭と重なったことから例年より多い約270名のご父母の皆さんが参加。遠く東は茨城県、西は広島県からも来学された。昨年度活動総括と新年度活動方針が承認され、新役員も決まって、本年度後援会活動のスタートが切られた。



環境デー名古屋2004春

クリーンキャンペーンで参加!

名古屋市の「環境デー名古屋2004春」が、6月5日の環境の日に取り組みました。DITは今年、学生室が中心となって「クリーンキャンペーン」で参加した。午前10時から正午まで名鉄大同町駅から滝春校舎、白水校舎、そして白水公園までの道路を清掃した。宴祭後初めての土曜日だったが、約30名の学生が元気に参加、清掃に汗を流した。



同窓会総会、宴祭にあわせ開催。

40周年の趣向もいろいろ。

今年の大同工業大学同窓会総会は、宴祭の29日、ゴビ ホールで開催された。今年と同窓会創立40周年の年でもあり、40周年事業が承認された。

宴祭に総会を開催することから、同窓会では趣向を凝らした。まずは29、30日にいづみ鮨による「ゴビ 鮨」開店。そして記念のゴビ のパスタオルを製作、参加者から人気を博していた。

なお、40周年記念事業は、今年11月、星野仙一氏の講演会と記念パーティーを賑やかに開催する。



大同工業大学大同高校卒業生

江戸川乱歩賞受賞!



今年の江戸川乱歩賞に、大同工業大学大同高校卒業生、神山裕右(かみやまゆうすけ)氏、24歳に決まった。受賞作品は「カクコンベ」。洞窟の地底湖を潜るケイブダイビングというスポーツを題材に、かつて親友を見殺しにした公認ダイバーが、洞窟に閉じ込められた親友の娘の救助に向かうというスリリングなストーリー。授賞式は9月17日。受賞作は8月に講談社から出版される。

人事 異動 / H16.5.1付

専任事務職員

木村 雅美 / 法人本部 通信・情報システム室 兼 大学事務部 情報教育センター事務室(主査待遇)
小堺 貴夫 / 大学事務部 就職指導室
安田 英基 / 大学事務部 教務室 兼 大学事務部 教務システム開発プロジェクトメンバー

役職就任

上田 英靖 / 入試部長 (任期:H16.5.1~H18.4.30)
大嶋 和彦 / 入試部次長(任期:H16.5.1~H18.4.30)
嶋田 喜昭 / 入試部次長(任期:H16.5.1~H18.4.30)

編集後記

1) 新入生870名を迎えてスタートした2004年度も、はや前期を終わろうとしています。この Semester で特記すべきは、大同工大がマスコミ、中でもテレビ、ラジオに再三にわたって取り上げられたことでした。
2) しかし大同工大は、テレビや新聞に取り上げられるだけでなく、大学として広報価値の高い埋もれた情報をいっぱい持っているはず。編集部では現在、社会交流エクステンションセンターの運

営委員の先生方を中心に情報収集を呼びかけております。
3) 先生方、学生の皆さん始め、学生のご父母、後援会、同窓会の皆様も、ぜひ情報をお寄せください。お寄せいただいた方には、ディットちゃんをデザインした「DITサポートバッジ」を差し上げています。(写真・バッジ)
4) 学生の皆さんにとって夏休みは、学習に、クラブに、研究に、就職にと重要な時期です。いい夏をお過ごしください。